



〒030-0180
青森市第二問屋町3丁目1番89号
東奥日報社
電話 017-739-1111
(C)東奥日報社 2008

インターネット
号外

ご購入のお問い合わせは
東奥日報社読者局



0120-46-5939

ヨム

コウドクサンキュー

24時間受付

福田首相が辞任表明

11発力月足支持率長期低迷で



会見する福田首相=1日午後9時30分

福田康夫首相(72)は一日夜、首相官邸で記者会見し、退陣する考えを表明した。内閣支持率の長期低迷に加え、衆参両院で与野党勢力が逆転する「ねじれ国会」の下で国政の停滞を招いたためとみられる。七月の主要国首脳会議(北海道洞爺湖サミット)や内閣改造による人心一新も支持率改善に結びつかず、内閣発足後、十一月で政権運営に行き詰まった。与党内では「福田首相では次の衆院選は戦えない」との空気が強まっていったことから、与党大敗を回避するためには自ら衆院解散に踏み切らず身を引くのが妥当との判断も働いたようだ。首相の辞意表明を受け、自民党

は早期に総裁選を実施し、新総裁を選出する。麻生太郎幹事長(67)らを中心に、後継選びが進むとみられる。二〇〇五年九月の郵政選挙以降、衆院選を経ずに首相が三度も交代する事態となり、新首相が早期の衆院解散を迫られるのは間違いない。福田内閣は安倍晋三前首相の突然の退陣を受けて、昨年九月二十六日に発足。政策推進に向け民主体との大連立を模索したが頓挫し、日銀総裁人事が参院で相次ぎ不同意になるなど厳しい国会運営を強いられた。

詳細は朝刊で